

認知症のご本人のための
相談 & 交流 & 楽しい活動の場

おれんじドアおおさか

認知症の本人からのメッセージ

赤嶺信夫

認知症の人と家族の会大阪府支部 中村淳子

認知症のご本人のための

相談 & 交流 & 楽しい活動の場

おれんじドアおおさか

“おれんじドアおおさか”は、認知症の本人同士が集い、自身の思いや悩み、やってみたいことを本音で語り合い、仲間と一緒に活動することで、元気になれる場です！
物忘れなどの不安を抱える方や、認知症と診断されたご本人、ぜひ、お気軽にご参加ください。ご家族や友人、支援者の方々も一緒にご参加いただけます。

- 【定例会】** 月に数回、阿倍野区・東住吉区を基本に定例会を開催
野菜マルシェ、ランチづくり、音楽会、バーベキューなど楽しい活動がいっぱいです。やりたいことを実現しましょう！
- 【その他】** 各地域や機関・団体からのご依頼があれば出張マルシェ&交流会を随時開催。
バスツアー、イベント参加なども不定期に開催しています。



もう一人ではなく、仲間がいます。
きっと楽しいことが待っています！！
お家に閉じこもってないで、
一度来てみてください！

就労事業所との連携：地域活動支援センター「茶来」・

就労継続支援B型「阿倍野ひまわり作業所」

月に数回の交流会だけでなく、もっと活動したい、働きたい、そんな方のために就労事業所と連携してサポートしています。
認知症のみなさんが、楽しみながら、野菜マルシェのほか、自分たちのしたいこと、できることを仕事として活動します。
仕事の対価として工賃があります。送迎も相談に応じます。

まずは「おれんじドアおおさか」にご相談ください!!

「おれんじドアおおさか」
公式インスタ
@orangedoor_osaka



ライン (LINE)
公式アカウント
「おれんじドアおおさか」



【お問合せ・ご相談】 [メール orange0611door@gmail.com](mailto:orange0611door@gmail.com) 電話 090-4034-2260 (担当：中村)

主催 公益社団法人認知症の人と家族の会大阪府支部

共生社会の実現を推進するための 認知症基本法

認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会『共生社会』の実現を推進する。

「新しい認知症観」

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方。

本人からのメッセージ

なんで自分が・・・

なったものはしょうがない

認知症は元には戻らない

追いかけても仕方ないことは追いかけない

自分も傷つく

認知症だけで死なないのだから、どうせなら楽しく暮らす

本人からのメッセージ

仲間と出会う

認知症になって広がる世界がある

同じ病気の仲間から元気をもらっている

病気を気にすることなく楽しく冗談を言い合う、

そんな仲間がいることは最高

認知症を隠さない

隠していることがしんどくなる

言うと助けてくれる人はいっぱいいる

助けられ上手になる

本人からのメッセージ

自分でしたいことをする

できないと決めつけないで

できることがあるのに、何もできないと決めつけられると
自尊心が傷つく

自分の責任でできることはしたい

危ないから、危険だからと制限されたくない

本人からのメッセージ

認知症になったら人生終わり… ではない!!

認知症になって

新しい出会いがあり

仲間とともに 楽しく

やりたいことができる!!

そんな場が地域の中にたくさんあれば

みんなが安心して暮らせる・・・

一人一人が変われば

社会が変わる・・・

ご清聴ありがとうございました